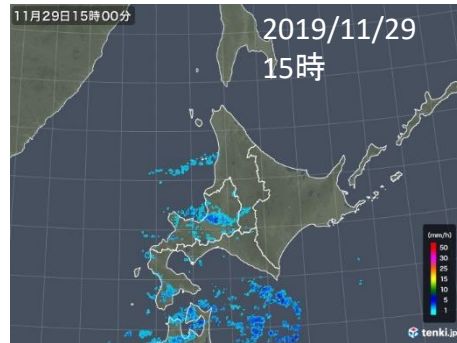
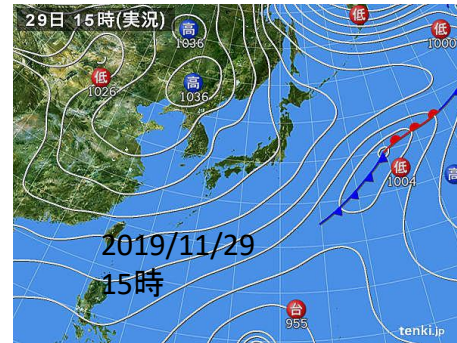
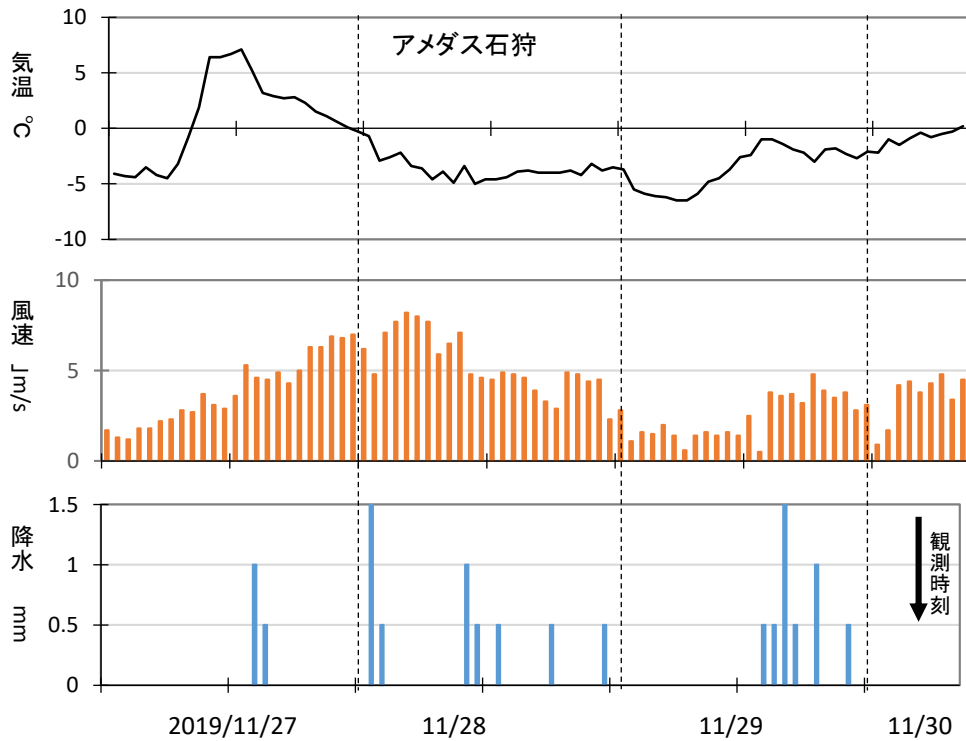


雲粒は全く見られない。雲粒の塊は識別できる⇒

あられ(雲粒の大きな塊)は長く残る

多くは雲粒のつながりだが、各々の雲粒は大きくなっている

雲粒の塊(小あられ)、雲粒の小さな集合、雲粒なし広幅六花が見られる。
③、④は弱い冬型の下で降った



④	10cm	+	+	小あられ層
③	8cm	+	+	
②	6cm	+	/	大あられ層
①	2cm	/	/	

①、②は11/28までの降雪
③、④は11/29の降雪

11/30 7:45 曇り 気温-1.4℃
粒子撮影室内は+0.4℃ 素早く撮影しないと融ける。
この後、気温が高くなり、雨のち雪。その後再び寒波が。
①、②は11/27,28の降雪
③、④は昨日(11/29)の降雪
ともに日本赤から侵入する雪雲からの降雪。

